



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月28日

上場会社名 田岡化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4113 URL http://www.taoka-chem.co.jp
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤 良
 問合せ先責任者(役職名) 事業支援室部長 (氏名) 勝本 泰仁 (TEL) 06-6394-1221
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	18,392	15.5	2,273	52.3	2,299	48.8	1,613	65.4
2018年3月期第3四半期	15,920	10.3	1,493	50.4	1,545	53.3	975	41.0

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,629百万円(57.0%) 2018年3月期第3四半期 1,037百万円(38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	562.87	—
2018年3月期第3四半期	340.24	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	23,076	11,214	48.6
2018年3月期	21,135	9,816	46.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 11,214百万円 2018年3月期 9,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	5.00	—	40.00	—
2019年3月期	—	40.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	60.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当予想の修正については、本日(2019年1月28日)公表いたしました「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式併合を考慮した場合の2018年3月期の1株当たり第2四半期末配当金は25円00銭となり、1株当たり年間配当金は65円00銭となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	12.2	2,700	30.1	2,700	28.5	1,800	32.0	627.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正については、本日(2019年1月28日)公表いたしました「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料 8 ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期3Q	2,888,000株	2018年3月期	2,888,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	21,135株	2018年3月期	20,809株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期3Q	2,867,021株	2018年3月期3Q	2,867,488株

- (注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報および合理的であるとする一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は183億92百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて24億72百万円の増収となりました。損益面におきましては、営業利益は22億73百万円（前年同四半期比7億80百万円増）、経常利益は22億99百万円（同7億54百万円増）となり、PCB処理費用26百万円などを特別損失として計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億13百万円（同6億38百万円増）となりました。

[セグメント別の売上高の概況]

区 分	前年同四半期		当第3四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	7,518	47.2	9,795	53.2	2,277	30.3
機能材部門	2,969	18.6	2,796	15.2	△173	△5.9
機能樹脂部門	1,683	10.6	1,851	10.1	168	10.0
化成品部門	3,367	21.2	3,583	19.5	215	6.4
化学工業セグメント	15,539	97.6	18,026	98.0	2,487	16.0
その他	381	2.4	366	2.0	△14	△3.8
合 計	15,920	100.0	18,392	100.0	2,472	15.5

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は、180億26百万円となり、前年同四半期と比べて24億87百万円の増収となりました。

(精密化学品部門)

医薬中間体および農薬中間体の増加に加え、前年同四半期中に完成した多目的工場が樹脂原料の出荷に通期で寄与したことにより、売上高は97億95百万円となり、前年同四半期と比べて22億77百万円の増収となりました。

(機能材部門)

瞬間接着剤やゴム薬品の輸出が減少したことから、売上高は27億96百万円となり、前年同四半期と比べて1億73百万円の減収となりました。

(機能樹脂部門)

当四半期に機能樹脂生産設備が完成したことによりワニスの出荷数量が増加したため、売上高は18億51百万円となり、前年同四半期と比べて1億68百万円の増収となりました。

(化成品部門)

可塑剤は原料価格の上昇に伴い販売価格の改定を行っていることから、売上高は35億83百万円となり、前年同四半期に比べて2億15百万円の増収となりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、土壌分析業務が減少したことや石綿分析の需要が一巡したため、売上高は3億66百万円となり、前年同四半期と比べて14百万円の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて19億12百万円増加し、126億81百万円となりました。これは、主として売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が増加したことや、現金及び預金ならびにたな卸資産が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて28百万円増加し、103億95百万円となりました。これは、主として減価償却費等による減少を機能樹脂生産設備の新設などによる設備投資額がわずかに上回ったことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産額は230億76百万円となり、前連結会計年度末と比べて19億40百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて7億13百万円増加し、82億43百万円となりました。これは、主として借入金の返済を順調に行っているものの、仕入債務の増加や機能樹脂生産設備の新設による流動負債その他に含まれる設備支払債務の増加が上回ったことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて1億70百万円減少し、36億19百万円となりました。これは、主として長期借入金の返済を行ったことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて5億42百万円増加し、118億62百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて13億97百万円増加し、112億14百万円となりました。これは、主として配当金の支払いによる減少を、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加が上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年10月29日発表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2019年1月28日)公表いたしました「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	438,161	1,034,421
受取手形及び売掛金	5,246,488	5,547,801
商品及び製品	3,228,037	3,671,110
仕掛品	104,662	62,475
原材料及び貯蔵品	1,585,725	1,871,996
その他	165,064	493,286
貸倒引当金	△52	△45
流動資産合計	10,768,087	12,681,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,107,696	8,300,318
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,124,935	△5,274,862
建物及び構築物（純額）	2,982,761	3,025,455
機械装置及び運搬具	21,417,311	21,870,959
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,850,886	△17,389,296
機械装置及び運搬具（純額）	4,566,424	4,481,663
その他	3,272,738	3,410,634
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,534,876	△1,598,366
その他（純額）	1,737,862	1,812,267
有形固定資産合計	9,287,048	9,319,386
無形固定資産	38,947	39,803
投資その他の資産		
その他	1,042,503	1,037,338
貸倒引当金	△700	△700
投資その他の資産合計	1,041,803	1,036,638
固定資産合計	10,367,799	10,395,828
資産合計	21,135,886	23,076,876

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,225,821	5,057,392
短期借入金	650,000	—
1年内返済予定の長期借入金	520,000	390,000
未払法人税等	414,848	346,322
賞与引当金	401,818	211,290
その他	1,317,005	2,238,106
流動負債合計	7,529,493	8,243,113
固定負債		
長期借入金	1,198,120	930,500
退職給付に係る負債	2,383,367	2,471,815
その他	208,329	216,875
固定負債合計	3,789,816	3,619,191
負債合計	11,319,310	11,862,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	7,213,431	8,597,837
自己株式	△28,214	△29,885
株主資本合計	9,765,973	11,148,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,748	44,468
為替換算調整勘定	14,906	16,169
退職給付に係る調整累計額	△21,051	5,227
その他の包括利益累計額合計	50,603	65,864
純資産合計	9,816,576	11,214,571
負債純資産合計	21,135,886	23,076,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	15,920,246	18,392,915
売上原価	12,279,489	13,832,745
売上総利益	3,640,757	4,560,170
販売費及び一般管理費	2,147,724	2,286,502
営業利益	1,493,032	2,273,668
営業外収益		
受取利息	370	838
受取配当金	16,756	17,023
その他	44,063	19,602
営業外収益合計	61,190	37,463
営業外費用		
支払利息	8,055	4,956
その他	945	6,794
営業外費用合計	9,001	11,751
経常利益	1,545,221	2,299,380
特別損失		
固定資産除却損	52,951	9,618
PCB処理費用	—	26,298
減損損失	91,868	—
特別損失合計	144,819	35,917
税金等調整前四半期純利益	1,400,402	2,263,463
法人税、住民税及び事業税	407,618	645,424
法人税等調整額	17,160	4,267
法人税等合計	424,778	649,692
四半期純利益	975,623	1,613,770
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	975,623	1,613,770

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	975,623	1,613,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,341	△12,279
為替換算調整勘定	△426	1,262
退職給付に係る調整額	31,125	26,278
その他の包括利益合計	62,040	15,260
四半期包括利益	1,037,664	1,629,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,037,664	1,629,031
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差額の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰延べております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。